

助成対象活動報告シート

団体名： 特定非営利活動法人 市民まちづくり風の会

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

1 これまでに行った活動内容

- 1) 7月21日に、二か所目の土壌整備と、一か所目からの葦の移植を実施。



(作業前：敷地の中心に瓦礫が放置され、雑草が生えている)



(作業後：瓦礫と雑草を撤去し、新たに土を搬入。両端に一か所目の葦を植栽)

- 2) 10月7日に10月12日に行う伐採会のチラシ(タイトル「新堀川の「葦(ヨシ)の伐採会」のご案内」)を作成し、即日300枚を近隣住宅に、ポスティングにて配布した。

- 3) 10月12日に一か所目での伐採会を開催し、近隣住宅からお一人の方にご参加いただくことができた。



2 活動の成果および目標達成度合い

二カ所目をつくることができ、根の広がりも少し見えるところまでできました。今春に新芽が生えて、夏から秋にかけて更なる根の広がりを期待したい。予定通りに目標は達成されました。



(写真左は一カ所目、写真右は二カ所目。2/21 撮影)

3 活動により見えた課題

- 1) 新堀川は下水を含む為、臭いや衛生面から、葦に直接接触る作業（伐採や移植等）を地域の方に関わってもらうことの難しさ
- 2) 潮の満ち引きによって水面が上下し、足場から水が引いている時間は 4 時間程度のため、日中に活動できる時間帯に制約がある。
- 3) 水質浄化を定量的に評価する仕組みが現実的になく、この植栽活動によってどの程度水質に良い効果をもたらしていることを客観的に把握することの難しさ
- 4) 水質浄化には葦の植栽カ所を更に増やすことが効果的で、三カ所目をつくるために新しい場所について、名古屋市に問い合わせしていますが、人が安全に水面近くまで下りられる場所が見つかっていない

4 今後の活動等の展望

- 1) 毎月の清掃活動
- 2) 一カ所目、二カ所目の伐採活動
- 3) 三カ所目の探索
- 4) 「地域住民らの巻き込み」「効果の可視化」についてなにか検討していることについては、汚水の中の危険を伴う作業に、どのようにして参加してもらうべきか、また、どのような年齢や属性の人たちに参加してもらうべきなのか、有識者から解決法のアドバイスを頂きたい

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2 ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさ日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。